

ボトルキャップのポリオワクチン寄付 2,000 人分達成 ～途上国の子供の感染症対策に貢献～

東海ゴム工業株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、ペットボトルのキャップを収集し、リサイクル資源として売却した利益で世界の子供にポリオワクチンを寄付する活動を、本社オフィスと小牧製作所、小牧地区のグループ会社で 2009 年 4 月から実施しております。

このたび、活動開始からのキャップ収集数が約 167 万個に達し、2,020 人分のポリオワクチンを寄付いたしました。収集活動スタートから 5 年 1 カ月で 2,000 人の大台を突破したことになります。なお、キャップを焼却処分しないことによる二酸化炭素（CO₂）ガスの排出削減効果は 12.7 トンと、25 リットルプールで 18 杯分になります。



東海ゴムグループは、CSR（企業の社会的責任）の精神を経営の根幹に位置づけており、キャップ収集によるワクチン寄付もその一環です。今後も、社会貢献とグループ従業員への CSR 意識の浸透を深めるため、ワクチン支援活動を継続してまいります。



＜東海ゴムのワクチン支援活動＞

飲料用ペットボトルのキャップを回収し、リサイクル業者に買い取ってもらいます。そこで生じた収益を、世界の子供を感染症から守る活動を行う特定非営利活動法人（NPO 法人）「エコキャップ推進協会」に寄付することで、途上国の子供にポリオワクチンを届けています。キャップ 800 個で 1 人分のポリオワクチンを寄付できます。キャップはリサイクルが可能なことから、資源の有効利用や廃棄物の削減にもつながります。

以上